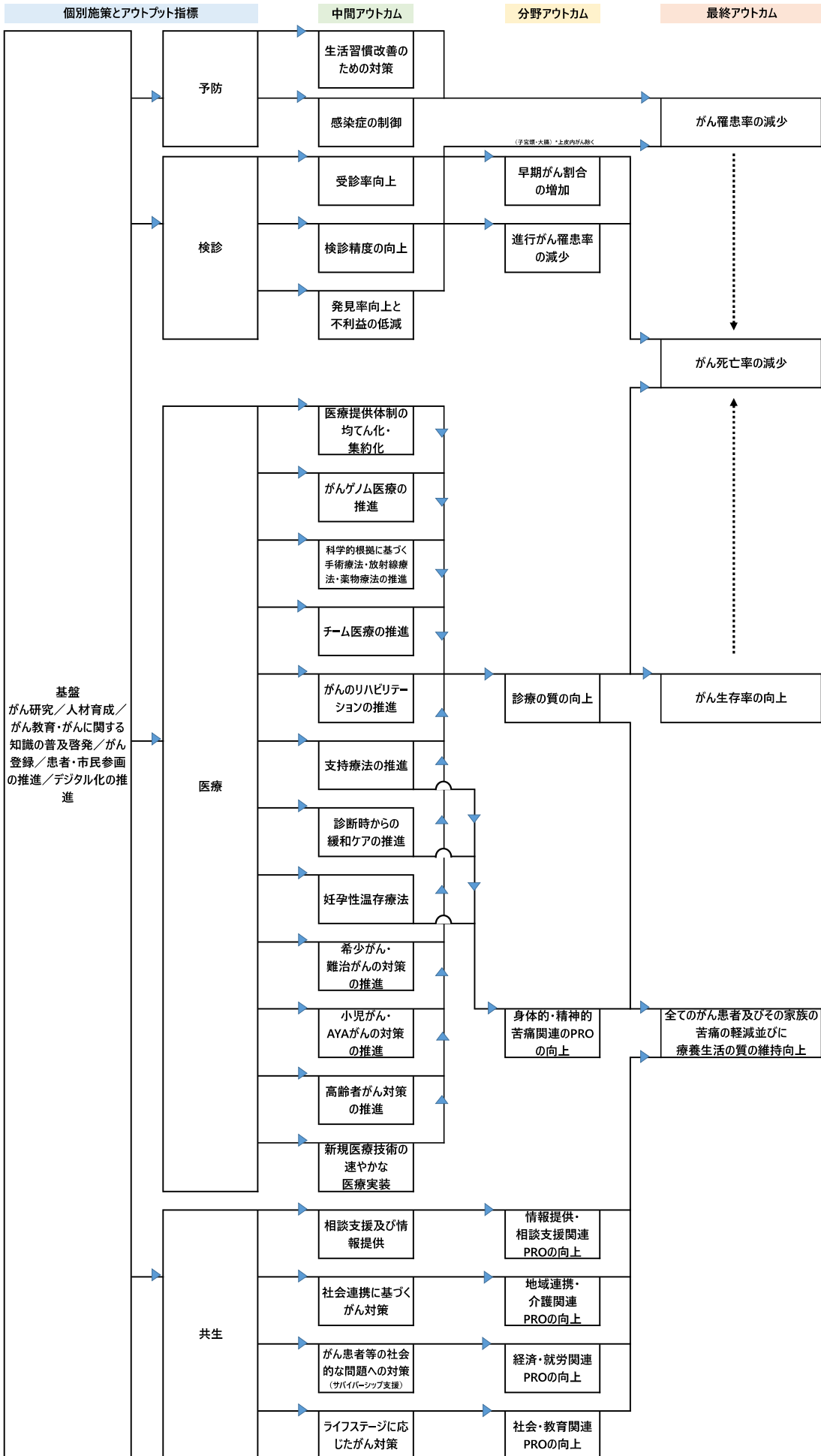


「第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル 確定版」：基本ロジックモデル

厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課 (2025年7月)

(別添2) 令和5年8月9日付け
健が発0809第1号厚生労働省健康局
がん・疾病対策課長通知 別紙1(更新・訂正後)



「第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル」

確定版」：がんの1次予防

厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課 (2025年7月)

生活習慣について

#	個別施策	アワード指標	3期	テーマース
11101	【国及び地方公共団体】生活習慣について、「次世代国民健康づくり運動プラン」に沿った取組を引き続き推進 【県点病院等】地域へのがんの予防に関する普及啓発を実施するとともに、必要に応じてがん相談支援センターが窓口となり、病院全体でがんの予防に取り組む体制を整備	指標設定無し（厚生労働省厚生 地域保健 健康増進栄養部会 文部科学 推進専門委員会（仮称）での取組評価を注視）	-	現況報告書 -

*、地域がん診療連携拠点病院、都道府県がん診療連携拠点病院、特定領域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院（各類型の特例型を含む）。以後、同。

感染症対策について (HPV)

12302	令和5年4月から9価HPVワクチンの定期接種を開始し、定期接種及びキャッチアップ接種の対象者に対する、適切な情報提供に基づいた正しい理解の促進に取り組む。	HPVワクチン定期予防接種実施率	地域保健・健康増進事業報告	1	データ入	3期	アワード指標	個別施策	#
	令和4年4月に再開したHPVワクチンの個別の接種動向の実態を踏まえ、HPVワクチンの接種状況と子宮頸がんの年輪調致率と重要な国内外的な推移を把握し、必要に応じて子宮頸がん検診の指針を見直し、科学的根拠に基づいた子宮頸がん対策を推進								

※	中間アンケート指標	3期	テーマ・ソース
111201	栄養・食生活① 適正体重を維持している者の増加 (体重、身長、BMIの増減、体脂肪率の増減を減少)	1018	国民健康・栄養調査
111202	栄養・食生活② 野菜摂取量の減少	1019	国民健康・栄養調査
111203	栄養・食生活③ 野菜摂取量の増加	1020	国民健康・栄養調査
111204	栄養・食生活④ 果物摂取量の改善	1020	国民健康・栄養調査
111205	身体活動・運動① 日常生活における歩数の増加	-	国民健康・栄養調査
111206	身体活動・運動② 通勤・通学・運動者の増加	1017	国民健康・栄養調査
111207	飲酒① 生活習慣病（NCD）のリスクを高める飲酒者の減少	1016	国民健康・栄養調査
111208	飲酒② 20歳未満の者の飲酒をなくす	-	厚生労働科学研究
111209	喫煙① 喫煙者の減少（喫煙をしない人が増える）	1011	国民健康・栄養調査
111210	喫煙② 望まない喫煙期間の短縮を促す者の割合	1015	国民健康・栄養調査
111211	喫煙③ 30歳未満の者の喫煙をなくす	1012	厚生労働科学研究
111212	喫煙④ 妊婦中の喫煙をなくす	1013	厚生労働科学研究 子世代行からのデータ提供

参考：第51回厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会資料1より

#	分分野別アウトカム	分分野別アウトカム指標	データソース
100001	がん検診利用率増加 (胃・大腸・肺・女性乳 房・喫煙関連がん)	がん検診利用率増加率 (胃・大腸・肺・女性 乳房・喫煙関連がん)	1004 全国がん登録

#	最終アワカム	最終アワカム指標	3期	アワードース
000044	がんの年齢調整罹患率 減少	がんの年齢調整罹患率		100% 全国がんと登録
000001	がんの年齢調整死亡数 減少	がんの年齢調整死亡数 (75歳未満、全年齢)		100% 人口動態統計

10002	がん種別罹患率減少 (肝・ATL・子宮頸部)	がん種別年補填費増悪 基 (肝・ATL・子宮頸 部)	分野別アウカム指標	3期	テーマ・ナース
-------	---------------------------	----------------------------------	-----------	----	---------

＜凡例＞

- ・＊： 指圖書号
- ・3冊： 第3冊中間部指標で採用されている指標は当時の番号、新装の場合、[-1]。

データのソース：用いる調査等、既存のデータベースでは情報が取得できず、既存調査の目録や専攻科研等の対応を検討しているものについては1検討中に記載、想定される調査について1年内に記載している。

「第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル 確定版」：がんの1次予防

感染症対策について（肝炎）

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
112102	肝炎ウイルス検査体制の充実 やウイルス陽性者の受診勧奨、 普及啓発を引き続き推進	肝炎専門医療機関開設 数	-	地方自治体にお ける肝炎対策実施状 況調査
112103	B型肝炎については、予防接種 法に基づく定期接種及びウイル ス検査を可能とする治療薬・治 療法の開発に向けた研究を引き 続き推進	肝炎医療コーディネーター の養成人数	-	地方自治体にお ける肝炎対策実施状 況調査
112104		B型肝炎定期予防接種 実施率	参3	地域保健・健康増 進事業報告

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
112201	B型・C型肝炎ウイルス検 査受検率の増加	B型・C型肝炎ウイルス検査受検率	参2	厚生労働科学研究(田中 期)
112202	B型・C型肝炎ウイルス陽 性者数の減少	B型・C型肝炎ウイルス陽性者数	-	「地域保健・健康増進事業報告 (健康増進編)」及び「特定病 害伝染等事業実施報告」

感染症対策について（HTLV-1）

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
112105	(HTLV-1に関する) 患者及びその家族等 の目撃に立ちつかり やすい情報提供の推 進	HTLV-1関連のホームペー ジの閲覧数（厚労省や 厚生労働科学研究班作 成のホームページのPV 数）	-	厚生労働省調べ
112106	HTLV-1キャリアや ATL・HAM患者に対す る相談体制の構築	HTLV-1関連の窓口数	-	結核感染症課調査
112107	HTLV-10保健所の検 査体制の整備	HTLV-1の保健所の検査 数	-	結核感染症課調査
112108	妊婦に対するHTLV-1 スクリーニング検査の推 進（実施率100%の確 持）	妊婦健康診査における HTLV-1抗体検査の公費 負担実施率	-	母子保健課調査

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
112203	HTLV-1 感染率の減少	ヒトT細胞白血病ウイルス1 型感染 率	参4	厚生労働科学研究

その他

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
-	引き続き、健康で無症状な集 団に対する、とどろい菌 の除菌の 胃がん発症予防における有効 性等について、国内外の知見を 速やかに収集し、科学的根拠に 基づき、除菌の必要性の有無 及びその対象者について検討す るとともに、運用上の課題につ いて整理する	検診の段階のため、指標 設定無し（策定に検討 を進めること）	-	-

「第4期がん対策推進基本計画画ロジックモデル 確定版」：がんの2次予防（がん検診）

受診率対策について

#	個別施策	アウトカム指標	3期	ターゲット
-	受診率向上に向けて、がん検診受診率をより正確かつ詳細に、また、個人単位で把握することができるよう検討	施策を検討する段階のため、指標設定無し（素人に検診を進めること）	-	-
12101	より科学的かつ効果的な受診勧奨策を、関係学会や企業等の協力を得て、都道府県及び市町村と連携して推進。受診者の立場に立ったがん検診を受診する上での利便性の向上を図る	受診勧奨実施市町村数※	-	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
12102	【市町村及びがん検診実施機関】受診者が、がん検診の意義及び必要性を適切に理解できるよう努める	普及啓発キャンペーンの実施状況（資料の準備、配布枚数、イベント参加者数）	-	がん検診受診率60％達成に向けた集中キャンペーン月間実施状況調査
-	指針に基づくがん検診の意義・必要性について、国民が正しく理解できるよう普及啓発	施策を検討する段階のため、指標設定無し（素人に検診を進めること）	-	-
-	感染症発生・まん延時等におけるがん検診の提供体制を一時的に縮小した場合でも、状況に応じて速やかに提供体制及び受診行動を回復させること（素人に検診を進めること）	施策を検討する段階のため、指標設定無し（素人に検診を進めること）	-	-
12103	地域におけるがん検診について、実施状況の継続的な把握及び適切な指針に基づき検診の実施率を向上させること	指針に基づき検診の実施率	-	-

がん検診の精度管理等について

#	個別施策	アウトカム指標	3期	ターゲット
12201	レセプトやがん登録情報を活用したがん検診の精度管理について、技術的支援を行う	がん検診の精度管理について技術的支援を行った市町村への支援数（特別区を含む）	-	厚生労働科学研究
12202	精密検査受診率の低い市町村の実態把握を行う仕組みについて検討するとともに、都道府県による指導・助言等の取組を推進	精密検査受診率の低い市町村の実態把握を行っている、取組にそれらの市町村に指導・助言等の取組を実施した都道府県数	-	都道府県用チェックリスト実施率調査
12203	【国及び都道府県】職域を含めた、がん検診の実施者によるかかりやすい情報提供を推進	全利用者保険者における要精密検査対象者への受診勧奨の実施割合	-	保険者データベース全数調査
12204	【国及び都道府県】職域を含めた、がん検診の実施者によるかかりやすい情報提供を推進	正しいがん検診の周知のため、住民に対し、がん検診の正しい情報提供を実施した市町村数	-	市区町村用チェックリスト実施率調査

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	3期	ターゲット
10000	検診がん種の早期がん割合の増加	検診がん種別早期がん割合	-	全国がん登録
10004	検診がん種の進行がん罹患率の減少	検診がん種別進行がん罹患率	-	全国がん登録

#	最終アウトカム	最終アウトカム指標	3期	ターゲット
00002	検診がん種の死亡率（75歳未満、全年齢）の減少	がん種別年齢調整死亡（75歳未満、全年齢）	1002	人口動態統計
00005	がん罹患率（子宮頸・大腸）の減少	がん種別年齢調整罹患率	1004	全国がん登録

※：上段内がん除く。

※がん検診により子宮頸部・大腸の初がん病変を早期発見して治療介入すれば、子宮頸がん・大腸がんの罹患率が減少する。

「第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル 確定版」：がんの2次予防（がん検診）

科学的根拠に基づくがん検診の実施について

#	個別施策	アクトファクト指標	3期	データソース
-	諸外国における取組との経年的な比較調査を実施する仕組みについて検討	指標設定無し（着実に検討を進めること）	-	-
123101	指針に基づくがん検診の科学的根拠に基づいた効果検証を進めるとともに、対象型検診の項目の導入に係るプロセスの明確化等について検討	指針の遵守 市町村数	1033	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
123102	指針に基づかないがん検診に係る効果検証の方法について検討するとともに、指針に基づかないがん検診の効果検証を希望する関係学会や企業等と、地方公共団体のマッチングを促進する仕組みについて検討	指針に基づかないがん検診の中止 市町村数	参8	市区町村におけるがん検診の実施状況調査
-	組織型検診の構築に向け、科学的根拠に基づくがん検診の実施に向けた取組により精度管理を向上させつつ、課題を整理し、その対応を検討	指標設定無し（着実に検討を進めること）	-	-

「第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル 確定版」：がん医療提供体制等＜医療提供体制の均てん化・集約化＞

厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課（2025年7月）

医療提供全般

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース	#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース	#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	3期	データソース	#	最終アウトカム	最終アウトカム指標	3期	データソース
211101	【国及び都道府県】地域の要 情に応じ、均てん化を推進す るとともに、持続可能ながん 医療の提供に向け、拠点病 院等の役割分担を踏まえた集 約化を推進（その際、国は、 都道府県がん診療連携協議 会等に対し、好事例の共有や 他の地域や医療機関との比 較が可能となるような検討に 必要なデータの提供などの技 術的支援を行う）	役割分担に関する議論 が行われている都道府 県の数	－	現状報告書	211201	医療機関の機能分担を 通じた質の高い安心な 医療の効率的な提供	担当した医師ががんにつ いて十分な知識や経験 を持っていると思う患者 の割合	－	患者体験調査	200001	全国的ながん診療の質 の向上・均てん化	がんの診療・治療全体の 総合評価（平均点また は評価が高い割合）	2005	患者体験調査	000001	がんの死亡率の減少	がんの年齢調整死亡率	2002	人口動態統計
211102	拠点病院等を中心に、患者に 対するがんの告知や、イン フォームド・コンセントの取得、 セカンド・オピニオンの提示など が適切な提供に実施されるよ うな体制整備を引き続き推進	がん治療前にセカンドオ ピニオンに関する話を受 けたがん患者の割合	2025	患者体験調査											000006	がんの生存率の向上	がん罹患5年生存率	2001	全国がん登録／院 内がん登録
211103	【国及び都道府県】感染症状 生・まん延時や災害時等の状 況下においても、必要ながん 医療を提供できるよう、診療 機能の役割分担や、各施設 が協力した人材育成や応援 体制の構築等、地域の実情 に応じた連携体制を整備する 取組を平時から推進	BCPに関する議論が行わ れている都道府県の数	－	現状報告書											000010	全てのがん患者及びその 家族の医療の継続及び に療養生活の質の維持 向上	現在自分からい日常生 活を送れていると感じる がん患者の割合	3001	患者体験調査
211104			－	現状報告書															
211205	拠点病院等、小児がん拠点 病院等、がんがん医療中核 拠点病院等が相互に連携可 能となるよう検討	都道府県協議会に小児 がん拠点病院等が参加 している都道府県の数※	－	現状報告書															

※がん拠点は自動的に連携される。

病理診断

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース	#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
211206	病理診断に携わる専門 的な知識及び技能を有 する医師が1人以上配 置されている拠点病院等 の割合（がん診療連携拠点病 院：特定の病理診断に携わる専門 的な知識及び技能を有する専任の医 師が1人以上配置されている専任医 師が1人以上配置されている専任医 師に携わる専門的な知識及び技能を 有する医師が1人以上配置されてい る割合をそれぞれ評価）	病理診断に携わる専門 的な知識及び技能を有 する医師が1人以上配 置されている拠点病院等 の割合（がん診療連携拠点病 院：特定の病理診断に携わる専門 的な知識及び技能を有する専任の医 師が1人以上配置されている専任医 師が1人以上配置されている専任医 師に携わる専門的な知識及び技能を 有する医師が1人以上配置されてい る割合をそれぞれ評価）	－	現状報告書	211202	タイムリーな病理診断	初診時から確定診断ま での期間が1ヶ月未満 の人の割合	－	患者体験調査
211207	質の高い病理診断や細胞診 断を提供するための体制の整 備を引き続き推進	細胞診断に関する専門 資格を有する者が1人 以上配置されている拠点 病院等の割合（がん診療 連携拠点病院：専任の細胞診断に携 わる専門的な知識及び技能を有する 医師が1人以上配置されている専任 医師に携わる専門的な知識及び技能 を有する者が1人以上配置されてい る割合をそれぞれ評価）	－	現状報告書					

「第４期がん対策推進基本計画ロジックモデル 確定版」：がん医療提供体制等＜がんゲノム医療＞

厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課（2025年7月）

#	個別施策	アウトカム指標	3期	データソース
212101		がんゲノム医療中核拠点病院等の数	2011	現状報告書（がんゲノム）
212102	がんゲノム医療中核拠点病院等を中心とした医療提供体制の整備等を引き続き推進する。また、関係学会等と連携し、がん遺伝子パネル検査等の更なる有効性に関する科学的根拠を引き続き収集するとともに、必要な患者が、適切なタイミングでがん遺伝子パネル検査等及びその結果を踏まえた治療を受けられるよう、既存制度の見直しも含め検討する	がんゲノム医療中核拠点病院等における遺伝医学に関する専門的な遺伝カウンセリング技術の有する者の数*1	2013	現状報告書（がんゲノム）
212103		がんゲノム医療中核拠点病院等における遺伝医学に関する専門的な遺伝カウンセリング技術の有する者の数	2014	現状報告書（がんゲノム）
212104		がんゲノム医療中核拠点病院等における遺伝カウンセリング等を行う部門につなぐいたりする者の数*1	2015	現状報告書（がんゲノム）
212105		がんゲノム医療中核拠点病院等におけるがん薬物療法に専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の数*2	2016	現状報告書（がんゲノム）

*1 がんゲノム医療中核拠点病院、がんゲノム医療拠点病院、がんゲノム医療連携病院における人数

*2 がんゲノム医療中核拠点病院、がんゲノム医療拠点病院における人数

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
212201		がんゲノム医療中核拠点病院内に登録された患者数	2019	C－C A Tからのデータ提供
212202		がんゲノム医療中核拠点病院等において遺伝性腫瘍に関する遺伝カウンセリングを実施した患者の数：遺伝性腫瘍に係る「遺伝カウンセリング料」の算定件数*1	2018	現状報告書（がんゲノム）
212203	がんゲノム医療へのアクセシビリティの向上	がん遺伝子パネル検査を実施した患者のうち、エキスポートパネルの結果治された割合	-	C－C A Tからのデータ提供
212204		がん遺伝子パネル検査を実施した患者のうち、エキスポートパネルで推奨された薬物が投与された割合	-	C－C A Tからのデータ提供
212205		ゲノム情報を活用したがん医療についてがん患者が知っているに回答した割合	2020	患者体験調査

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	3期	データソース
200001	全国的ながん診療の質の向上・均てん化	がんの診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）	2005	患者体験調査

#	最終アウトカム	最終アウトカム指標	3期	データソース
000001	がんの死亡率の減少	がんの年齢調整死亡率	2002	人口動態統計
000006	がんの生存率の向上	がん種別５年生存率	2001	全国がん登録／院内がん登録
000010	全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分からいい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	3001	患者体験調査

「第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル

確定版」：がん医療提供体制等＜手術療法・放射線療法・薬物療法＞

手術療法について

#	個別施策	アウトカム指標	3期	ターゲット
213101	標準的治療の提供に加えて、科学的根拠に基づく、ロボット支援手術を含む腹腔下手術等の高度な手術療法の提供について	拠点病院等における我が国に多いがん ¹⁾ の腹腔下手術の割合	2031 現状報告書	
213102	医療機関間の役割分担の明確化及び連携体制の整備等の取組を進める	厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している拠点病院等の割合	- 現状報告書	

放射線療法について

#	個別施策	アウトカム指標	3期	ターゲット
213103		IMRTを提供しているがん診療連携拠点病院 ²⁾ の割合	2035 現状報告書	
213104	【国及び都道府県】標準的治療の提供に加えて、科学的根拠に基づく高度な放射線療法 ³⁾ の提供についても、医療機関間の役割分担の明確化及び連携体制の整備等の取組を進める	専任の放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師が1人以上配置されているがん診療連携拠点病院の割合	2036 現状報告書	
213105		常勤の診療放射線技師が2人以上配置されているがん診療連携拠点病院の割合	- 現状報告書	
213106	関係学会等と連携し、標準的治療及び延子線治療、後応技術を用いた治療等の高度な放射線療法の安全な提供体制の在り方について検討	あり方の検討段階のため、指標設定無し（着実に検討を進めること）	-	

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	ターゲット
213201	安全かつ質の高い手術治療の実施	我が国に多いがんの術後短期死亡率	2032	院内がん登録 +DPC
213202		診断から手術までの日数（術前化学療法の対象外のがん腫・ステージ患者に対象を限定）	-	院内がん登録 +DPC

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	ターゲット
213203	必要な患者に対する、最良かつ安全な実施	放射線治療関連QI研究（拠点病院等（QI研究参加施設 ³⁾ ）における標準的治療の実施割合	-	院内がん登録 +DPC
213204		拠点病院等（QI研究参加施設）における手術から放射線治療開始までの期間	-	院内がん登録 +DPC

*1. 大腸がん、肺がん、胃がん、前立腺がん及び肝・胆・膵のがんを想定（以後、同）。
*2. 地域がん診療連携拠点病院、都道府県がん診療連携拠点病院（各類型の特例型を含む）（以後、同）。

*3. 診療の質評価指標（Quality Indicator、QI）研究参加施設（2019年症例解除には591施設が参加、うち、国指定のがん診療連携拠点病院等指定施設は386施設（拠点病院の86%）。）（以後、同。）

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	3期	ターゲット
200001	全国的ながん診療の質の向上・均てん化	がんの診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）	2005 患者体験調査	
200004	（標準的な）診断・医療の進歩	一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思う患者の割合	2003 患者体験調査	
200005	治療選択についての情報提供の充実（必要な情報へのアクセス改善）	治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	- 患者体験調査	

#	最終アウトカム	最終アウトカム指標	3期	ターゲット
000001	がんの死亡率の減少	がんの年齢調整死亡率	2002	人口動態統計
000006	がんの生存率の向上	がん罹患5年生存率	2001	全国がん登録／院内がん登録
	全てのがん患者及びその家族の生活の転運並びに療養生活の質の維持向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	3001	患者体験調査

薬物療法について

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
213107		専任のがん薬物療法に関する専門資格を有する常勤の薬剤師が1人以上配置されているがん診療連携拠点病院の割合	2040 現状報告書	
213108	【国及び都道府県】患者が、病態や生活背景等、それぞれの状況に応じた適切な安全な薬物療法を受けられるよう、構造的治療に加えて、がん看護又はがん薬物療法に関する専門資格を有する常勤の看護師が外来化学療法室に1人以上配置されている拠点病院等の割合（がん診療連携拠点病院：専任のがん薬療法に専任する専門的な知識及び技能を有する常勤の薬剤師が1人以上配置されているがん診療連携拠点病院：専任のがん薬療法に専任する専門的な知識及び技能を有する常勤の薬剤師が外来化学療法室に1人以上配置されているがん診療連携拠点病院が1人以上配置されているがん診療連携拠点病院）	2041 現状報告書		
213109	【国及び都道府県】患者が、病態や生活背景等、それぞれの状況に応じた適切な安全な薬物療法を受けられるよう、構造的治療に加えて、がん看護又はがん薬物療法に関する専門資格を有する常勤の看護師が外来化学療法室に1人以上配置されている拠点病院等の割合（がん診療連携拠点病院：専任のがん薬療法に専任する専門的な知識及び技能を有する常勤の薬剤師が1人以上配置されているがん診療連携拠点病院：専任のがん薬療法に専任する専門的な知識及び技能を有する常勤の薬剤師が外来化学療法室に1人以上配置されているがん診療連携拠点病院が1人以上配置されているがん診療連携拠点病院）	- 現状報告書	-	
213110		免疫関連有害事象を含む有害事象に対して、他診療科や他病院と連携等して対応している拠点病院等の割合	- 現状報告書	
213111	国立がん研究センターや関係学会と連携し、国民が、薬物療法等に関する正しい情報を得ることができるよう、科学的根拠に基づき治療に関する情報提供及び普及啓発を推進	自施設で対応できるがんに関する提供可能な診療内容を病院HP等でわかりやすく広報している拠点病院等の割合	- 現状報告書	
-	【国及び都道府県】バイオ医薬品に係る新たな目標を踏まえ、使用促進のための具体的な方策を検討	方策の検討段階のため、目標設定無し（着実に検討を進めること）	-	

#	中間アウトカム	指標	3期	データソース
213205		化学療法（薬物療法）関連QI（拠点病院等における標準的治療の実施割合）	2021	院内がん登録-DPC
213206	最新の知見に基づく適切な化学療法のタイムリー・安全な実施	遺伝子検査に基づく化学療法が行われているか（例：術後化学療法における手術から化学療法まで、あるいは、進行例における診断から化学療法までの期間）*4	-	院内がん登録-DPC
213207	国民が免疫療法に関する正しい情報を取得	科学的根拠を有する免疫療法について国民が必要な情報を取得できている割合	2043 世論調査	

*4. 化学療法を遅延なく受けることができるかを評価。測定対象の定義や測定方法について、研究班で検討予定。

「第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル 確定版」：がん医療提供体制等＜チーム医療の推進＞

厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課（2025年7月）

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
214101	【拠点病院等】多職種連携をさらに推進する観点から、拠点病院等におけるチーム医療の提供体制の整備を進めるとともに、都道府県がん診療連携協議会において地域の医療機関と連携を行い、拠点病院等と地域の医療機関との連携体制の整備に取り組む	緩和ケア診療加算の算定回数	－	NDB
214102		栄養サポートチーム加算の算定回数	－	NDB
214103	【拠点病院等】院内や地域の歯科医師、歯科衛生士等と連携し、歯科歯科連携によるがん患者の口腔の管理の推進に引き続き取り組む	地域における相談支援体制の整備や緩和ケアの提供体制の連携体制について協議し、体制整備を行った都道府県の数	－	現状報告書
214104		がん患者の口腔健康管理的のための院内又は地域の歯科医師と連携して対応している拠点病院等の割合	－	現状報告書
214105	【拠点病院等】栄養サポートチーム等の専門チームと連携し、栄養指導や管理を行う体制の整備に引き続き取り組む	「栄養サポートチーム加算」を算定している拠点病院等の割合	－	現状報告書

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
214201	多職種（医師以外）による相談支援体制の充実 実	主治医以外にも相談しやすいスタッフがいた患者の割合	2055	患者体験調査
214202	医療スタッフ間での情報連携の改善	医療スタッフ間で情報が十分に共有されていると感じた患者の割合	-	患者体験調査

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	3期	データソース
200001	全国的ながん診療の質の向上・均てん化	がんの診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）	2005	患者体験調査

#	最終アウトカム	最終アウトカム指標	3期	データソース
000001	がんの死亡率の減少	がんの年齢調整死亡率	2002	人口動態統計
000006	がんの生存率の向上	がん罹患 5 年生存率	2001	全国がん登録／院内がん登録
000010	全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	3001	患者体験調査

「第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル 確定版」：がん医療提供体制等＜がんのリハビリテーション＞

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
215101	引き継ぎ、関係団体と連携し、がんのリハビリテーション研修を実施するとともに、研修内容を互い直しについて検討	がんリハビリテーション研修プログラムを修了している医療従事者の人数	2063	ライフプランニングセンターからのデータ提供
215102	【国及び都道府県】研修を受講した医師や看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の拠点病院等への配置を推進し、入院に加えて、来においても、効果的・継続的ながんのリハビリテーション提供体制の整備を推進	リハビリテーションに携わる専門的な知識及び技能を有する医師が配置されているがん診療連携拠点病院の割合	2061	現状報告書
215103		がんのリハビリテーションに係る業務に携わる専門的な知識及び技能を有する療法士等を配置しているがん診療連携拠点病院の割合	-	現状報告書

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
215201	がんリハビリテーションの適切な提供	拠点病院等（QI研究参加施設）に連携・入院中のがん患者でリハビリテーションを受けた患者の割合	2062	院内がん登録 +DPC

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	3期	データソース
200001	全国的ながん診療の質の向上・均てん化	がんの診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）	2005	患者体験調査

#	最終アウトカム	最終アウトカム指標	3期	データソース
000001	がんの死亡率の減少	がんの年齢調整死亡率	2001	人口動態統計
000006	がんの生存率の向上	がん罹患 5 年生存率	2002	全国がん登録／院内がん登録
000010	全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	3001	患者体験調査

「第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル

確定版」：がん医療提供体制等＜支持療法の推進＞

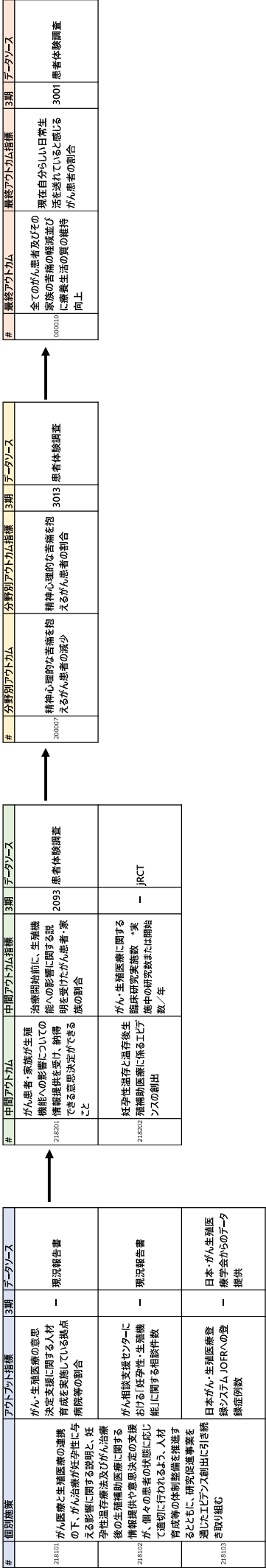
#	個別施策	アウトカム指標	3期	データソース
216101	患者が、治療に伴う副作用・合併症・後遺症への見通しを、アビダンスに関する相談件数	がん相談支援センターにおけるアビダンスに関する相談件数	-	現状報告書
216102	変化等があった際に容易に相談できるよう、多職種による相談支援体制の整備や医療従事者への研修の実施等を推進	リンパ浮腫研修の受講者数	-	ライフプランニングセンターからのデータ提供
216103		リンパ浮腫外来が設置されている拠点病院等の割合	2077	現状報告書
216104		リンパ浮腫に対して専門的な治療を受けられた患者の数・H007-4 リンパ浮腫療法的治療料の算定回数	-	NDB
216105		スチーム外来が設置されている拠点病院等の割合	2078	現状報告書
216106		専任のがん薬物療法に関する専門資格を有する常勤の薬剤師が1人以上配置されているがん診療連携拠点病院の割合	2040	現状報告書
216107	支持療法の更なる充実に向けて、実態把握を行うとともに、科学的根拠に基づく支持療法が実施されるよう、関係団体等と連携し、専門的なアが受けられる体制の整備等を推進	薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師が1人以上配置されている拠点病院等の割合（がん診療連携拠点病院：専任の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師が1人以上配置されている割合、地域がん診療病院：専任の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師が1人以上配置されている割合をそれぞれ調書）	(2041)	現状報告書
216108		がん看護又はがん薬物療法に関する専門資格を有する常勤の看護師が外来化学療法室に1人以上配置されている拠点病院等の割合（がん診療連携拠点病院：専任のがん看護に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師が外来化学療法室に1人以上配置されている割合、地域がん診療病院：専任のがん看護又はがん薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師が1人以上配置されている割合をそれぞれ調書）	-	現状報告書
216109		支持療法に関するガイドラインの数	2073	Minds登録数

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
216201	治療に伴う副作用への見通しの改善	治療による副作用の見通しを持てた患者の割合	2074	患者体験調査
216202	身体的なつらさに関する相談環境の改善	身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談ができると思う患者の割合	2075	患者体験調査
216203	外見の変化に関する相談環境の改善	外見の変化に関する相談ができたとがん患者の割合	2076	患者体験調査
216204	支持療法の均てん化	拠点病院等（QI研究参加施設）において支持療法に関する標準診療を実施された患者の割合	2071	院内がん登録・DPC

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	3期	データソース
200001	全国的ながん診療の質の向上・均てん化	がんの診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）	2005	患者体験調査
200006	身体的な苦痛を抱えるがん患者の減少	身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	3012	患者体験調査
200007	精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の減少	精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	3013	患者体験調査

#	最終アウトカム	最終アウトカム指標	3期	データソース
000001	がんの死亡率の減少	がんの年齢調整死亡率	2002	人口動態統計
000006	がんの生存率の向上	がん罹患5年生存率	2001	全国がん登録／院内がん登録
000010	全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	3001	患者体験調査

「第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル 確定版」：がん医療提供体制等＜妊孕性温存療法＞



「第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル 確定版」：希少がん及び難治性がん対策

希少がん対策

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
220101	【国及び都道府県】拠点病院等における診療実績や、医療機関間の連携体制等について、患者やその家族等の目録に立った分かりやすい情報提供を推進	希少がんポータルへの問い合わせ回数 「がん情報サービス」または「希少がんセンター」に掲載された希少がんの数および当該ページへのPV数	－	国立がん研究センターからのデータ提供
220102	都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会における地域の実情を踏まえた議論を推進し、拠点病院等の役割分担に基づき医療機関間の連携体制の整備を推進	希少がん診療を積極的 に受け入れている拠点病院等の数と他施設へ紹介する拠点病院等の数	－	現状報告書
220103	病理診断や治療に係る希少がん中央機関と拠点病院等の連携体制の整備を引き続き推進	中央病理コンサルテーションの回数	－	国立がん研究センターからのデータ提供
220104	希少がん領域における薬剤アクセスの改善に向けて、日本の薬事規制等の海外の中小ハイテク企業への周知等を進じ、日本で早期開発を促すなど治験の実地（国際共同治験への参加を含む。）を促進する方策を検討するともに、希少がん中央機関、拠点病院等、関係学会及び企業等と連携した研究開発を推進	希少がんに対する臨床試験を実施している拠点病院等の数	－	現状報告書
220105	関係学会等と連携した診療ガイドラインの充実を図る	希少がんに関するガイドラインの数（がん種に対するガイドラインの作成率）	－	Minds登録数

#	中間アウトカム	指標	3期	データソース
220201	希少がんの患者の診療情報へのアクセス拡充	治療スケジュールの見通しに資する情報を十分得ることができた希少がん患者の割合	－	患者体験調査
220202	希少がん診療における適切な役割分担の実現	希少がん診療を積極的 に受け入れている拠点病院等における治療開始数	－	現状報告書＋院内がん登録
220203	連携の円滑化（速やかな医療の提供）	希少がん患者の初診から診断までの時間、診断から治療開始までの時間	2082	患者体験調査

#	分野別アウトカム	指標	3期	データソース
200011	希少がん患者の高度かつ専門的な医療へのアクセスの向上	希少がんについて、担当した医師ががんについて十分な知識や経験を 持っていたと思う患者の割合	2083	患者体験調査

#	最終アウトカム	指標	3期	データソース
000007	希少がんの生存率向上	希少がんの5年生存率	－	全国がん登録／院内がん登録
000011	希少がん患者及びその家族の生活の転進並びに療養生活の質の維持向上	現在自分からいい日常生活を送れていると認める希少がん患者の割合	－	患者体験調査

厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課（2025年7月）

難治性がん対策

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
220307	【国及び都道府県】拠点病院等における診療実績や、医療機関間の連携体制等について、患者やその家族等の目録に立った分かりやすい情報提供を推進	難治性がん（ ^{＊1} ）に関するHP等の整備を行っている拠点病院等の数	－	現状報告書
220308	都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会における地域の実情を踏まえた議論を推進し、拠点病院等の役割分担に基づき医療機関間の連携体制の整備を推進	難治性がん（ ^{＊1} ）診療に受け入れている拠点病院等の数と他施設へ紹介する拠点病院等の数	－	現状報告書
220309	難治性がん領域における薬剤アクセスの改善に向けて、日本の薬事規制等の海外の中小ハイテク企業への周知等を進じ、日本で早期開発を促すなど治験の実地（国際共同治験への参加を含む。）を促進する方策を検討するともに、希少がん中央機関、拠点病院等、関係学会及び企業等と連携した研究開発を推進	難治性がん（ ^{＊1} ）に対して臨床試験を行っている拠点病院等の数	－	現状報告書

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
220204	難治性がん診療における適切な役割分担の実現	難治性がん・診療を積極的に受け入れている拠点病院等における治療開始数	－	現状報告書＋院内がん登録

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	3期	データソース
200001	（難治性がんを含む）全国的ながん診療の質の向上・均てん化	がんの診断、治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合） ^{＊2}	2005	患者体験調査

#	最終アウトカム	最終アウトカム指標	3期	データソース
000003	難治性がんの年齢調整死亡率の減少	難治性がん（代表例：肺がん）の年齢調整死亡率	－	人口動態統計
000008	難治性がんの生存率向上	難治性がん（代表例：肺がん）の5年生存率	－	全国がん登録／院内がん登録
000010	（難治性がんを含む）がん患者及びその家族の生活の転進並びに療養生活の質の維持向上	現在自分からいい日常生活を送れていると認めるがん患者の割合（ ^{＊2} ）	3001	患者体験調査

^{＊1} 肺がんを代表事例として特定し、難治性がんの定義について、今後検討が必要。
^{＊2} がん種別で評価が困難なため全体の評価で代替。

②、本人・親類で親族が困難なた
め全体の野面へ代替。

「第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル

確定版」：小児がん・AYA世代のがん対策

厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課（2025年7月）

小児がん対策

#	個別施策	アクト指標	3期	データソース
230101		小児がん拠点病院等「小児がんの医療提供に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の数	-	現状報告書（小児がん）
230102	小児がん拠点病院等と、拠点病院等や地域の医療機関等との連携を含め、地域の実情に応じた小児・AYA世代のがん医療提供体制の整備を推進、また、小児がん拠点病院連絡協議会における地域ブロックを超えた連携体制の整備に向けた議論を推進	小児がん拠点病院等での小児の手術に携わる、小児がん手術に関して専門的な知識及び技能を有する医師の人数	-	現状報告書（小児がん）
230103		小児がん拠点病院等での小児がんの放射線療法に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数	-	現状報告書（小児がん）
230104		小児がん拠点病院等における小児がん看護に関する専門的な知識や技能を習得している看護士の人数	-	現状報告書（小児がん）
230105		小児がん拠点病院等における医療従事者、診療機能や、他の医療機関との連携体制等について、患者やその家族等の目線に立つたわかりやすい情報提供に取り組む	-	-
230106	小児がん医療者の国際合併症について実態把握を行うとともに、小児がん拠点病院等と、拠点病院等、地域の医療機関、かかりつけ医師の連携を含め、地域の実情に応じた小児・AYA世代のがん患者の長期フォローアップの在り方を検討	都道府県協議会で長期フォローアップの連携体制について議論している都道府県数（参考）長期フォローアップ外来を設置している小児がん拠点病院等の施設数	-	現状報告書（小児がん）
230107		日本の薬事規制等の海外の中小ハイイオ企業への周知等を通じ、日本での早期開発を促進するなど治験の実施（国際共同治験への参加を含む。）を促進する方策を検討するとともに、小児がん中央機関、小児がん拠点病院等、関係学会及び企業等と連携した研究開発を推進	-	-

AYA世代のがん対策

#	個別施策	アクト指標	3期	データソース
230200	小児がん拠点病院等と、拠点病院等や地域の医療機関等との連携を含め、地域の実情に応じた小児・AYA世代のがん医療提供体制の整備を推進、また、小児がん拠点病院連絡協議会における地域ブロックを超えた連携体制の整備に向けた議論を推進	多職種からなるAYA支援チームを設置している拠点病院等の割合	-	現状報告書

#	中間アクトカム	中間アクトカム指標	3期	データソース
230201	小児がん診療の集約化	小児がん拠点病院で治療を受けた小児がん患者の割合	-	現状報告書＋院内がん登録
230202	小児がん相談支援の拡充	がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所が十分あると認む小児がん患者の割合	-	小児患者体験調査
230203	長期フォローアップの認知・利用拡充	長期フォローアップについて知っていると回答した小児がん患者の割合	-	小児患者体験調査
230204	小児がん領域での研究開発の推進	小児がん拠点病院において実施されている小児がんに関する治験数	-	現状報告書（小児がん）

#	分野別アクトカム	分野別アクトカム指標	3期	データソース
200001	小児がん診療の質の向上・均てん化	小児がん患者のがんの診断・治療全過程の総合評価（平均点又は評価が高い割合）	2005	小児患者体験調査

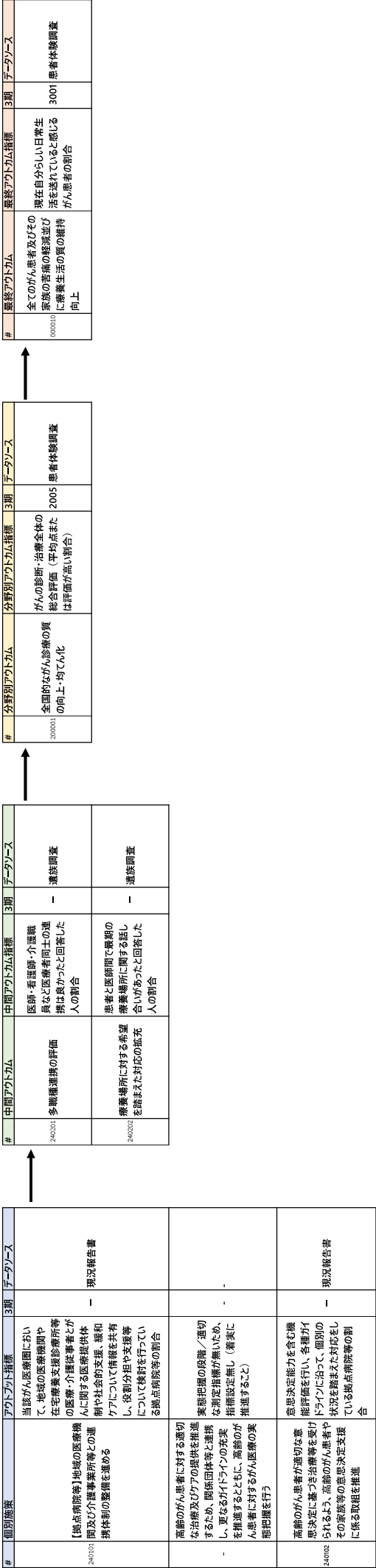
#	最終アクトカム	最終アクトカム指標	3期	データソース
000003	小児がん患者の生存率向上	小児がん患者の5年生存率	2091	全国がん登録／院内がん登録

#	中間アクトカム	中間アクトカム指標	3期	データソース
230205		がんと診断されてから病状や療養生活について相談できたと感じる若年がん患者の割合	3002	患者体験調査
230206	AYA患者の状況や希望に応じた支援の拡充	外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談できた若年患者の割合	2076	患者体験調査
230207		治療開始前に、治療態への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	2093	患者体験調査、小児患者体験調査

#	分野別アクトカム	分野別アクトカム指標	3期	データソース
200001	AYA世代のがん診療の質の向上・均てん化	若者がん患者の診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）	2005	患者体験調査
000003	若者がん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分からいい日常を送れていると感じる若年がん患者の割合	3001	患者体験調査

「第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル 確定版」：高齢者のがん対策

厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課（2025年7月）



#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
-	拠点病院等における臨床研究等の推進に引き続き取り組みとともに、患者目録の分りやすい情報提供の在り方について検討し、拠点病院等に対し周知	あり方の検討段階のた め、指標設定無し（補 実に検討を進めること）	-	-
250101	【拠点病院等】患者に対し、臨床研究等の適切な実施及び情報提供を行うとともに、必要に応じ適切な医療機関への紹介を行う	臨床試験に参加していな い地域の患者さんや家 族向けの問い合わせ窓 口を設置している拠点病 院等の割合	-	現況報告書
-	先進医療、患者申出療 養制度等の評価療養、 先駆的医薬品等指定制 度等の既存の制度の適 切な活用を促しつつ、ガ ン研究の成果の速やか な実装を、科学的根拠 に基づき、引き続き推 進	指標設定無し（既存制 度の適切な活用を引き 続き実施・指標が必要と 認められた場合には見直 し）	-	-
-	日本の薬事規制等の海外 の中小ハイテク企業への周 知等を通じ、日本での早 期開発を促すなど治験の 実態（国際共同治験への 参加を含む。）を促進する 方策を検討するとともに、 関係学会及び企業等と連 携した研究開発を推進す る。また、それらの実用化 に向けた課題の整理と、既 存制度の見直しを含めた 対応策の検討を行い、速 やかな医療実装を着実に 進める	課題整理・方策検討の 段階のため、指標設定 無し（着実に検討を進 めること）	-	-

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
250201	医薬品、医療機器及び 医療技術の開発の加速 とそれらの速やかな医療 実装	がんに関する臨床研究 数	-	JRCT

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	3期	データソース
200001	全国的ながん診療の質 の向上・均てん化	がんの診断・治療全体の 総合評価（平均点または 評価が高い割合）	2005 患者体験調査	患者体験調査
200004	（標準的な）診断・医 療の進歩	一般の人が受けられるが ん医療は数年前と比べて 進歩したと思う患者の割 合	2003 患者体験調査	患者体験調査
200005	治療選択についての情報 提供の充実（必要な情 報へのアクセス改善）	治療決定までに医療ス タッフから治療に関する 十分な情報を得られた 患者の割合	- 患者体験調査、小 児患者体験調査	患者体験調査、小 児患者体験調査

#	最終アウトカム	最終アウトカム指標	3期	データソース
000001	がんの死亡数の減少	がんの年齢調整死亡率	2002	人口動態統計
000005	がんの生存率の向上	がん種別5年生存率	2001	全国がん登録/院内がん登録
000010	全てのがん患者及びその 家族の苦痛の軽減並び に療養生活の質の維持 向上	現在自分らしい日常生 活を送れていると感じる がん患者の割合	3001	患者体験調査

「第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル 確定版」：相談支援及び情報提供

相談支援について

#	個別施策	アウトカム指標	3期	データソース
31101	【拠点病院等】がん相談支援センターの認知度向上及びその役割の理解の促進のため、地域の関係機関等と連携して、自施設に連携していない患者も含む患者やその家族等への適切なタイミングでの周知に引き続き取り組む。また、相談支援体制へのアプグレメントを向上させるため、オンライン等を活用した体制整備を進める	がん相談支援センターでの自施設・他施設からの新規相談件数（全国立拠点病院等での総数）	-	現状報告書
31102	相談支援の質を担保するため、関係団体等と連携し、がん相談支援に係る研修等に引き続き取り組む	相談員研修を受講したがん相談支援センターの相談員の人数	-	現状報告書
31103		上記の内、フォローアップ研修を受講したがん相談支援センターの相談員の人数	-	現状報告書
-	持続可能な相談支援体制の在り方等について検討	あり方の検討段階のため指標設定無し（策実により検討を進めること）	-	
31104	拠点病院等と民間団体による相談機関やセブアドバイザー等の連携体制の構築について検討する。併せて、相談支援の一層の充実を図るため、ICTや患者団体、社会的人材リソースを活用し、必要に応じて地方公共団体等の協力が得られる体制整備の方策について検討	拠点病院等1施設あたりの連携している患者団体の数	-	現状報告書
31105	相談支援等に携わる者からセブアドバイザー等につなげるための仕組みについても検討	拠点病院等1施設あたりの体験を語り合う場の開催数	-	現状報告書

情報提供について

#	個別施策	アウトカム指標	3期	データソース
-	ニーズや課題等の把握を進め、「情報の均てん化」に向けた適切な情報提供の在り方について検討	あり方の検討段階のため現時点で指標設定無し（策実により検討を進めること）	-	
31201	引き続き、国立がん研究センターや関係団体等と連携し、がんに関する正しい情報の提供及び理解の促進に取り組む	がん情報サービスにアクセスした件数	-	国立がん研究センターからのデータ提供
31202		がん情報サービスにおけるコンアング量新数	-	国立がん研究センターからのデータ提供
31203	障害等により情報取得や意思疎通に配慮が必要な人や、日本語を母国語としていない人への情報提供を適切に行うことで医療へのアクセスを確保するために、現状及び課題等を把握し、情報提供体制の在り方について検討	がん情報サービスにおける3026ターからのデータ提供、資料の更新数	-	国立がん研究センターからのデータ提供

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
31201	がん相談支援センターの認知度	がん相談支援センターについて知っているがん患者の割合	3023 小児患者体験調査	患者体験調査
31202	がん相談支援センターの一般の人の認知度	治療法や病院についてがん相談支援センターで情報入手しようと思う人の割合	-	世論調査
31203	がんと診断されたから相談することができること	がんと診断されてから病気になるまで生活について相談できたと感じるがん患者の割合	3024 患者体験調査	患者体験調査
31204	ピアサポーターの認知度	ピアサポーターについて知っているがん患者の割合	3024 患者体験調査	患者体験調査

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	3期	データソース
330001	がん患者が、相談を利用し、役だつたと思うこと	がん相談支援センターを利用したことのある人が役に立ったがん患者の割合	-	患者体験調査
330002		ピアサポートを利用したことがある人が役に立ったがん患者の割合	-	患者体験調査
330003	がん患者の家族が、悩みや負担を相談できること	家族の悩みや負担を相談できたことが十分であると感じているがん患者・家族の割合	3022 患者体験調査	患者体験調査

#	最終アウトカム	最終アウトカム指標	3期	データソース
000010	全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分からいい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	3001 患者体験調査	患者体験調査

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
-	【拠点病院等】都道府県がん診療連携協議会において、セカンドオピニオンを受けられる医療機関と、緩和ケア及び在宅医療等へのアクセスに関する情報提供の在り方について検討	あり方の検討段階のた め、指標設定無し（着 実に検討を進めること）	-	
320101	【拠点病院等】地域包括ケアシステムの仕組みも踏まえて、地域の実情に応じた、介護事業所や薬局等の地域の関係機関との連携や、社会的支援や困難事例等への対応に取り組む	専門医療機関連携薬局 （癌病の区分：がん） の認定数	-	厚生労働省調べ
320102	地域の関係者間の連携体制を構築することで、地域における課題の解決を促すため、拠点病院等を中心とした施設間連携・調整を担う者の育成に、引き続き取り組む	地域緩和ケア連携調整 員研修受講者数	-	地域緩和ケアネットワーク構築事業
320103	セカンドオピニオンに関する情報提供及び利用状況等の実態把握を行い、関係団体等との連携した適切な情報提供の在り方について検討	診療情報提供料（Ⅱ） の算定数	-	NDB

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
320201	希望時にセカンドオピニオンを受けられる割合の向上	がん治療前に、セカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	3032	患者体験調査
320202	療養場所に関する話し合いの普及	患者と医師間で最新の療養場所に関する話し合いがあった	-	道徳調査

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	3期	データソース
330006	望んだ場所で過ごせるがん患者の割合の増加	望んだ場所で過ごせるがん患者の割合	3034	道徳調査
330007	在宅で過ごせるがん患者の医療に対する満足度の向上	在宅で過ごせるがん患者の医療に対する満足度	3033	道徳調査のサブグループ解析（全死このうち在宅死七）

#	最終アウトカム	最終アウトカム指標	3期	データソース
000010	全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分からいい日常生活を送れていると感ずるがん患者の割合	3001	患者体験調査

「第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル 確定版」：がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバシップ支援）

厚生労働省 健康局がん・疾病対策課（令和5年8月9日）

就労支援について（医療機関側）

#	個別施策	アウトカム指標	3期	データソース
-	現在の自立支援制度の効果及び課題を明らかにし、普及啓発、主治医から産業医への情報提供をはじめとする医療機関等と産業保健との一層効果的な連携等について検討	指標設定なし（調査に検討を進めること）	-	-
331101	医療機関等において就労支援センターにおける就業に関する相談件数	拠点病院等がん相談支援センターにおける就業に関する相談件数	3043	現状報告書
331102	連携し、患者、事業主間の治療と仕事の両立に向けた課題を支援できる体制の整備に取り組む	療養・就労両立支援指導料の算定件数※ ※がんについて	-	NDB
331103	拠点病院等における就労の専門家による相談の回数	拠点病院等における就業の回数	-	現状報告書
331104	再就職支援を推進する観点から、拠点病院等とハローワークとの連携体制の整備に引き続き取り組む	ハローワークと連携した就業支援をおこなっている拠点病院等の割合	3044	長期病業者就職支援事業報告

就労支援について（職場側）

#	個別施策	アウトカム指標	3期	データソース
331105	再就職支援を推進する観点から、拠点病院等とハローワークとの連携体制の整備に引き続き取り組む	長期病業者就職支援事業を活用した就職者数 *がんについて	-	長期病業者就職支援事業報告
-	就労支援のさらなる充実に向けて、様々な就労形態におけるがん患者の就労及び雇用の実現を把握し、それを踏まえた就労支援の提供体制について検討	指標設定なし（調査に検討を進めること）	-	-
-	中小企業も含めて、企業における支援体制や、時間単位・年次有給休暇や育児休暇、在宅勤務（テレワーク）等の柔軟な勤務制度や休暇制度の導入等の取組を更に推進するため、産業保健総合支援センター等の活用や助成金等による支援、普及啓発について検討	指標設定なし（調査に検討を進めること）	-	-
331106	両立支援コーディネーターの更なる活用に向けて、その活動状況を把握するとともに、地域・職場連携の観点からより効果的な取組について検討	両立支援コーディネーター研修修了者数	-	事業報告（労働者健康安全機構）

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
331201	診断時から情報提供	治療開始前に、就労継続について説明を受けたがん患者の割合	3041	患者体験調査
331202	がんと診断された後の仕事の变化	がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合	3042	患者体験調査
331203	がんと診断された後の仕事の变化	退職したがん患者のうち、がん治療の開始前までに退職した者の割合	3043	患者体験調査

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	3期	データソース
300000	経済・就労関連 PROの向上	治療費用の負担が原因で、がんの治療を中断・断念したがん患者の割合	-	患者体験調査
300009		金銭的負担が原因で生活に影響があったがん患者の割合	-	患者体験調査
300010	がん患者・経験者の両立支援・就労支援に関する相談・支援体制へのアクセシビリティの向上	がんと診断されてから病気になるまでの生活に関する相談ができたと感じるがん患者の割合 家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	3002 3003	患者体験調査

#	最終アウトカム	最終アウトカム指標	3期	データソース
000010	全てのがん患者及びその家族の生活の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分からいい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	3001	患者体験調査

「第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル 確定版」：がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援）

アピアランスケアについて

#	個別施策	アウトプット指標	3期	ターゲット
332101	医療従事者を対象とした研修 等を行う継続開催すること に、相談支援及び情報提供 の在り方について検討	アピアランスケア研修 (e-learning) 修了者 数	-	国立がん研究セン ターアピアランス支 援センターからのデー タ提供
332102	拠点病院等におけるアピ アランスケアに係る相談支援・ アピアランスに関する相談件 数	拠点病院等におけるアピ アランスに関する相談件 数	-	現状報告書

がん診断後の自殺対策について

#	個別施策	アウトプット指標	3期	ターゲット
333101		緩和ケア研修修了者数	3017	がん等における新た な緩和ケア研修等 事業
333102	がん患者の診断後の自殺対 策について、医療従事者等か 正しい知識を身につけられるよ う、研修等の開催や、相談支 援及び情報提供の在り方につ いて検討	自殺リスクに関する研修 を実施した拠点病院等 の割合	-	現状報告書
333103		特定疾患治療管理料 算定数	-	ND8
333104		特定疾患治療管理料 がん患者治療管理料口 算定数	-	ND8
-	がん診断後の自殺対策を推 進するため、がん患者の自殺 リスクやその背景等について実 態把握を行い、必要対応に ついて検討	実態把握の取組のため、 リスクやその背景等について実 態把握を定無し（確実に） 検討を進めること	-	-

その他の社会的な問題について

#	個別施策	アウトプット指標	3期	ターゲット
-	患者・経験者・家族等の経済 的な課題等を明らかにし、関 係機関や関係学会等と協力 して、利用可能な施策の周知 や課題解決に向けた施策につ いて検討	検討段階のため指標設 定無し（確実に）検討を 進めること	-	-
334101	障害がある等により情報取得 や意思疎通に配慮が必要な がん患者の実態やニーズ、課 題を明らかにし、がん検診や 医療へのアクセス等の在り方 について検討	情報取得や意思疎通に 配慮が必要な者に対する マニュアルを作成してい る拠点病院等の割合	-	現状報告書
334102	【地方公共団体】がんに対す る「偏見」の払拭や正しい理解 につながるよう、民間団体や 患者団体等と連携し、普及 啓発に努める	拠点病院等で実施した、 地域を対象とした、がん に関するセミナー等の開 催回数（総数）	-	現状報告書

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	ターゲット
332201	アピアランスケアに関する 相談支援の利用	外見の変化に関する悩 みを医療スタッフに相談 ができたがん患者の割合	3048	患者体験調査

#	中間アウトカム	指標	3期	ターゲット
333201		心のつらさがあるとき、 すぐに医療スタッフに相 談できたと感じている患 者の割合	3011	患者体験調査
333202	気持のつらさに対する 支援の利用	精神心理的な苦痛を抱 えるがん患者の割合	3013	患者体験調査
333203		療養生活の最終段階に おいて、精神心理的な苦 痛を抱えるがん患者の割 合	3016	道徳調査
333204		身体的なつらさがある時 に、すぐに医療スタッフに 相談ができたと感じる患 者の割合	2075	患者体験調査
333205	身体的なつらさに対する 支援の利用	身体的な苦痛を抱える がん患者の割合	3012	患者体験調査
333206		療養生活の最終段階に おいて、身体的な苦痛を 抱えるがん患者の割合	3015	道徳調査

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	ターゲット
334201	がん患者の疎外感の解 消	がんと診断されてから周 囲に不必要な気を遣わ れている割合	-	患者体験調査
334202	がんに対する偏見の払拭	（家族以外の）周囲の 人からがんに対する偏見 を感じる割合	-	患者体験調査

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	3期	ターゲット
300011	外見の変化に起因する 苦痛の軽減	身体的・精神的・心理的な 苦痛により日常生活に 支障を来しているがん患 者の割合	3014	患者体験調査

#	分野別アウトカム	指標	3期	ターゲット
300012	がん患者の自殺の要因 の解消	がん患者の自殺数	3050	革新的がん自殺研 究推進プログラム

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	3期	ターゲット
300013	がんによる社会からの孤 立の解消	がんであることを話せる割 合	-	世論調査

「第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル 確定版」：ライフステージに応じた療養環境への支援

厚生労働省 健康局がん・疾病対策課（令和5年8月9日）

小児・AYA世代について

#	個別施策	アウトラクト指標	3期	データソース
341101	医療従事者と教育関係者との連携に努めるとともに、療養中に教育を必要とする患者が適切な教育を受けられることとする	小児がん拠点病院等のがん相談支援センターにおける、小児・AYA世代のがん患者の療育及び療養上の相談への対応・支援のうち、教育に関する相談件数	-	現況報告書（小児がん） ^{*1}
341102	環境の整備、就学・復学支援等の体制整備を行う。また、ICTを活用した遠隔教育について、医療研究センターが実地研修を行う	国立がん研究センターによる「がん相談支援センター相談員基礎研修」(1)(2)を受講後、国立成育医療研究センターが実施する「小児がん相談員専門研修」を修了し、小児がん拠点病院等に配置されている者の数	-	現況報告書（小児がん）
341103	成人診療科と連携した切れ目ない支援体制が、地域の実情に応じて構築できるよう、患者の健康管理の方法、地域における療養の在り方、再発・二次がん・併存疾患のフォローアップ体制等の医療・支援の在り方について検討	小児・AYA世代のがん長期フォローアップに関する研修会参加人数	4023	小児・AYA世代の長期フォローアップ体制整備事業事業報告
341104	再発・二次がん・併存疾患のフォローアップ体制等の医療・支援の在り方について検討	長期フォローアップ外来を開設している小児がん拠点病院等の数 ^{*2}	-	現況報告書（小児がん）
341105	小児・AYA世代のがん経験者の就労における課題の克服に向けて、ハローワークや地域若者サポートステーション等を含み就労支援に関係する機関や患者団体と連携した取組を引き続き推進	小児がん拠点病院等のがん相談支援センターにおける、小児・AYA世代のがん患者に対する就労に関する相談件数	-	現況報告書（小児がん） ^{*1}
341106	む就労支援に関係する機関や患者団体と連携した取組を引き続き推進	小児がん拠点病院が運営している、小児がんに関する患者団体の数	-	現況報告書（小児がん）
-	小児・AYA世代のがん患者の療養環境の課題等について実態把握を行い、診断時から緩和ケア提供体制や在宅療養環境等の体制整備について、関係省庁と連携して検討	あり方の検討の段階のため、指標設定無し（着実に検討を進めること）	-	-

^{*1} 成人拠点におけるAYA世代のがん患者に係る相談件数も算出することを検討中（令和4年度では現況報告書に対応項目無し）

^{*2} 小児がん拠点病院と、小児がん連携病院の類型1を分母とする想定

#	中間アウトラクト	中間アウトラクト指標	3期	データソース
341201	教育支援に関する医療スタッフからの説明の拡充	治療開始前に教育の支援等について医療スタッフから返があったと回答した人の割合	3052	小児患者体験調査
341202	就学支援制度の利用拡大	がん治療のため転校・休学・退学したと回答した人のうち、患者の治療中に何らかの就学支援制度を利用したと回答した人の割合	-	小児患者体験調査
341203	がん治療と教育の両立	治療中に学校や教育関係者から治療と教育の両立に関する支援を受けた家族の割合	3053	小児患者体験調査
341204	長期フォローアップの認知度向上	長期フォローアップについて知っている小児がん患者の割合	-	小児患者体験調査
341205	医療者側からの就労支援（説明）の拡充	治療開始前に、就労継続について説明を受けたがん患者の割合	-	患者体験調査
341206	つらい症状への速やかな対応改善	つらい症状には速やかに対応してくれたと聞いた回答した人の割合	-	小児患者体験調査

#	分野別アウトラクト	分野別アウトラクト指標	3期	データソース
300003	家族への支援・サービス・場所の充実	家族の悩みや負担を軽減出来る支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	3054	患者体験調査
300014	就学の継続	がん治療前に就学していた者のうち、がん治療のために患者が転校・休学・退学したと回答した人以外の割合	-	小児患者体験調査

#	最終アウトラクト	最終アウトラクト指標	3期	データソース
000010	全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	3001	小児患者体験調査 患者体験調査

高齢者について

#	個別施策	アウトバウンド指標	3期	データソース
342101	【拠点病院等】地域の医療機関やかかりつけ医、療養機関やかかりつけ医、在宅療養支援診療所、訪問看護事業所等の医療・介護を担う機関、関係団体、地方公共団体等と連携し、患者やその家族等の療養生活を支えるための体制を整備することともに、地域における課題について検討	当該がん医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討を行っている拠点病院等の割合	-	現況報告書
342102	介護支援等連携指導料	介護支援等連携指導料の算定数（がん患者に限定）	-	NDB
342103	課題について検討	退院時共同指導料1の算定数（がん患者に限定）	-	NDB
-	高齢のがん患者が抱える課題について実態把握を行い、長期療養の中で生じる有難事などに対応できるよう、患者の健康管理の方法、地域における療養の在り方、再発・二次がん・併存疾患のフォローアップ体制等について検討	あり方・施策の検討段階のため、指標無し（着実に検討を進めること）	-	-
342104	高齢のがん患者の、人生の最終段階における療養場所等の選択に関する意思決定を支援するための方策について検討	意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた対応をしている拠点病院等の割合	-	現況報告書

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
342201	家族の介護負担感の軽減	介護をしたことで、全体的に負担感が大きくなったと回答した割合	-	遺族調査のサブグループ解析*3
342202	死亡場所で患者が受けた医療の格差・プロセスの改善	医師・看護師・介護職員など医療者同士の連携はよくなったと回答した割合	-	遺族調査のサブグループ解析*3
342203	最後の療養場所の希望や医療に関する話し合いの充実	患者と医師間で最後の療養場所に関する話し合いがあったと回答した割合	-	遺族調査のサブグループ解析*3

*3. サブグループ解析は、遺族調査の結果を、75歳以上に限定して解析することを指定

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	3期	データソース
300006	死亡前1ヶ月間の患者の療養生活の質向上	望んだ場所で過ごせたがん患者の割合	-	遺族調査のサブグループ解析
300007	死亡場所で受けた医療に対する全般的満足度（>在宅かつ高齢者）向上	在宅で過ごせたがん患者の医療に対する満足度	-	遺族調査のサブグループ解析
300015	死亡前1ヶ月間の患者の療養生活の質向上	人生をまとうたと感じていた患者の割合	-	遺族調査のサブグループ解析

「第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル 確定版」：
全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進

#	個別施策	アウトカム指標	3期	データソース
-	「がん研究10か年戦略」の中間評価報告書や本基本計画を踏まえ、がん研究の更なる充実に向け、戦略の見直しを行う。また、関係省庁が協力し、多様な分野を融合させた先進的な研究を推進することにより、治療法の多様化に向けた取組をより一層推進する	がん研究論文数、引用数の増加	-	-
410101	【AMED】基礎的な研究から実用化に向けた研究までを一体系的に推進するため、有望な基礎研究の成果の迅速及び医薬品・医療機器の開発と企業導入を速やかに行うための取組を引き続き推進	「革新性的がん医療実用化研究事業」事後評価	-	AMED
410102	「全ゲノム解析等実行計画2022」を着実に進め、ゲノム情報等により、患者等に不利益が生じないよう留意しつつ、新たな予防・早期発見法等の開発を含めた患者還元や、がんや難病に係る研究・創薬への利活用等を推進	日本臨床研究実施計画・研究概要公開システム（JRCT）に登録されたゲノム変異にもとづいたがんを対象とした臨床研究の数	-	JRCT、AMED
410103	日本臨床研究実施計画・研究概要公開システム（JRCT）に登録されたAMED疾患領域（がん）の研究数		-	JRCT、AMED
410104	本基本計画における各分野の政策課題の解決に資する研究を推進	厚労科研の採択課題における事後評価の平均	-	厚生労働省調べ
410105		「がん政策研究事業」成果に関する評価	-	厚生労働省調べ
-	格差の解消に向け、まずは各分野の医師の地域間、医療機関間の差を測定するための指標やその評価方法に係る研究を推進	指標設定無し（着実に研究を推進すること）	-	-

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
410201	がん研究論文数、引用数の増加	CSO(Common Scientific Outline)分類別・単位別論文数、引用数	-	論文データベース Dimensions
410202		(AMED)におけるがんに関する研究成果を活用した臨床試験・治療への移行数	-	AMED
410203	基礎的研究成果として日常診療への導入を目指すして推進される医療技術数の増加	(AMED)におけるがんに関する研究承認件数（新薬・適応拡大）（医療機器含む）	-	AMED
410204		(AMED)におけるがんに関する「シーズの企業への導出件数	-	AMED

人材育成の強化

#	個別施策	アウトカム指標	3期	データソース
420101	関係学会・団体等と連携しつつ、がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材、がん予防の推進を行う人材、新たな治療法を開発できる人材等の専門的な人材の育成を推進する。また、専門的な人材の育成の在り方を検討するにあたっては、高齢化や人口減少等の背景を踏まえ、人材の効率的な活用等の観点を含め検討する	がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）養成プラン/次世代のがんプロフェッショナル養成プラン事業評価	-	文部科学省からのデータ提供
420102		がんゲノム医療コーディネーター研修会参加人数	4022	がんのゲノム医療従事者研修事業（～R4）、現況報告書（ゲノム）
420103	拠点病院等を中心に、専門的な人材の育成及び配置に積極的に取り組む。また、地域のがん医療や緩和ケア等と相う人材の育成及び配置について、拠点病院等や地域の医療団体が中心となって取り組む	がんリハビリテーション研修プログラムを修了している医療従事者の人数	2063	ライフプランニングセンターからのデータ提供
420104		小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会参加人数	4023	小児・AYA世代のがんの長期フォローアップ体制整備事業
420105		緩和ケア研修修了者数	4021	がん等における新たな緩和ケア研修等事業
420106		緩和ケアに特化した講座を設置している大学の数	4024	文科省からのデータ提供

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
420201	必要な知識を身に附けた専門的人材の増加	第4期がんプロで支援されたがん専門医療人材の人数	-	事業における取組状況調査
-	専門的人材の適正配置	今後、検討（人材の配置について、どのように評価を行うことが適切か、検討を行う。）	-	-

がん教育及びがんに関する知識の普及啓発

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
430101	引き継ぎ、学習推進要綱に基づき、児童生徒の発達段階に応じたがん教育を推進する。その際、生活習慣が原因とならないがんもあることなど、がんに対する正しい知識が身に付くよう、医療従事者ががん患者等の外部講師の積極的な活用について周知を行うとともに、ICTの活用を推進するなど、各地域の実情に応じたがん教育の充実・充実の成果の普及を図る	外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合	4031	がん教育の実施状況調査
	都道府県及び市町村において、教育委員会及び衛生主管部局が連携して会館体を設置し、地域のがん医療を担う医師と患者等の関係団体とも協力しながら、また、学校医やがん医療に携わる医師、がん患者・経験者等の外部講師を活用しながら、がん教育が実施されるよう、必要な支援を行う			
430102	【国及び地方公共団体、拠点病院等を中心とした医療機関】患者やその家族等の関係団体等の協力を得ながら、国民に対する、生活習慣や遺伝子等のがんの発生に関する正しい知識の普及啓発には、啓発資料のデジタル化や対象者に応じた周知方法の工夫等により、より効果的な手法を用いる	がん情報サービスに含まれる項目数	-	国立がん研究センターからのデータ提供
430103		拠点病院等で実施した、地域を対象とした、がんに関するセミナー等の開催回数（総数）	-	現況報告書
430104	【事業主や医療保険者】がん対策推進企業アクション等の国や地方公共団体の事業を活用することも含め、雇用者や被保険者・被扶養者が、生涯のうちに約2人に1人ががんに罹患すると推計されていることや、がん後診やがんの治療と仕事の両立といったがんに関する正しい知識を得ることができるよう努める	がん対策推進企業アクションの参加企業数	4033	厚生労働省調べ

がん登録の利活用の推進

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
440101	引き継ぎ、質の高い情報収集に資する精度管理に取り組み	全国がん登録の精度指標としてのMI比・%DCO	2111	全国がん登録
	がん登録情報の利活用の推進について、現行制度における課題を整理し、がん登録推進法等の制定の整備を含め、見直しに向けて検討する。利活用の推進にあたっては、保健・医療分野のデジタル化に関する他の取組とも連携し、より有用な分析が可能となる方策を検討	指標設定無し（着実に検討を進めること）	-	-

患者・市民参画の推進

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
450101	【国及び都道府県】国民本位のがん対策を推進するため、基本計画及び「都道府県がん対策推進計画」の策定過程において、性別、世代、がん種等を考慮し、多様ながん患者等のがん対策推進協議会等の参加割合（参考：性別、年代等の多様性）を高める。また、都道府県の公募制、代表制等の事例も踏まえつつ、患者・市民参画の更なる推進に向けた仕組みを検討	都道府県がん対策推進計画の策定過程におけるがん患者を代表する者の参加割合（参考：性別、年代等の多様性）	4001	厚生労働省調べ
450102	これまでがん研究分野で推進されてきた、がん患者及びがん経験者の参画の取組に係る知見について、患者・市民参画に関する研究成果も踏まえ、各分野への機展開を行う	厚生労働省科学研究を基に開催された研修会の開催回数	-	厚生労働省科学研究
-	患者・市民参画を推進するにあたって、参画する患者・市民への啓発、育成を行う 医療従事者や関係学会に対しても、患者・市民参画に係る啓発に関する活動の成果について、どのような評価を行うか、検討を行う。）	今後、検討（医療従事者側の患者・市民参画に係る啓発に関する活動の成果について、どのような評価を行うか、検討を行う。）	-	-

デジタル化の推進

#	個別施策	アウトプット指標	3期	データソース
-	「がん予防」、「がん医療」、「がんとの共生」の各分野において、PHRの推進、現況報告書のオンライン化、レセプトやがん登録情報等を活用したがん対策の評価、オンラインを活用した相談支援や効果的な情報提供等、ICTやAIを含むデジタル技術の活用による医療のデータ化とその利活用の推進について検討	個別施策を検討する段階のため、指標設定無し（着実に検討を進めること）	-	-
460101	患者やその家族等のアクセス向上や、医療・福祉・保健サービスの効率的・効果的な提供の観点から、SNS等を活用したがん検診の受診勧奨や、安心かつ安全なオンライン診療の提供、e-コンサルト（電話的方法によるインフォームド・コンセント）の活用等の治療のオンライン化、地方公共団体や医療機関における会議のオンライン化、相談支援のオンライン化に向けた取組を推進	患者とその家族が利用可能なインターネット環境を整備している拠点病院等の割合	-	現況報告書
460102	セカンドオピニオンを提示する場合は、必要に応じてオンラインでの相談を受け付けることができる体制を整備している拠点病院等の割合	セカンドオピニオンを提示する場合は、必要に応じてオンラインでの相談を受け付けることができる体制を整備している拠点病院等の割合	-	現況報告書
460103	集学的治療等の内容や治療前後の生活における注意点等に関する冊子や視聴覚教材等がオンラインでも確認できる拠点病院等の割合	集学的治療等の内容や治療前後の生活における注意点等に関する冊子や視聴覚教材等がオンラインでも確認できる拠点病院等の割合	-	現況報告書

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
450201	がん対策の重要性を認識し、がん医療について正しい理解を得、医療の向上に向け自らも協力する国民（がん患者を含む）の割合増加	がん対策を進めるために国民の能力が広く必要であり、積極的に関わりたいたいと考える人の割合	-	世論調査
450202	医療従事者の意欲向上	関係学会において患者・市民参画を知っていると回答した医療者の割合	-	日本癌治療学会からのデータ提供

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	3期	データソース
460201	（デジタルにより）がん患者・家族を食む国民が、適切な情報・医療資源・支援にアクセスしやすくなること	今後、検討（デジタル技術の活用のアプローチをどのように評価するか、検討を行う。）	-	-